

平成30年度 活動計画

活動目標

1. 看護師職能の活動を通して、公衆衛生の向上と県民の健康保持・増進に寄与する
2. 病院看護師の役割の明確化と資質の向上を図ると共に働きやすい環境づくりを支援する

<公益目的事業>

活動内容

1. 医療福祉における看護師の資質向上のための研修会等の企画・実施
2. 看護職の交流を通して情報交換し、看護職の活性化を図る

活動計画

1. 定例会：年12回 臨時 4回
2. 研修会：年 2回 延定員400名
3. 調査研究：実態調査計画実施

<会員支援事業>

活動内容

1. 平成29年度事業報告、平成30年度事業計画の説明

活動計画

1. 職能集会・講演会：年1回 定員300名

公益目的事業（研修会）

項 目	内 容	開催日	場 所	募集人数
研 修 会	テーマ：「管理者の魅力 主任時代に準備すること」 ～看護現場学から～ 講師：陣田 泰子 氏 （淑徳大学 看護学科教授）	H30. 11. 14 (水)	神奈川県 看護協会	100 名 ※主任及び それに 準ずる者
	テーマ：(仮) チーム医療推進について (神奈川県下における多職種連携について) シンポジスト：県内病院の 薬剤師・管理栄養士・理学療法士を予定	H31. 2. 8 (金)	同上	300 名

会員支援事業

項 目	内 容	開催日	場 所	募集人数
職能集会	平成 29 年度事業報告 平成 30 年度事業計画	H30. 7. 21 (土)	神奈川県 看護協会	300 名
講演会	テーマ：「看護の将来ビジョン～いのち・暮らし・尊厳をまもり支える看護の実現のために何をすべきか～」 講師：福井 トシ子氏（公益社団法人 日本看護協会 会長）			

平成30年度 活動報告

I 活動目標

- 1 看護師職能の活動を通して、公衆衛生の向上と県民の健康保持・増進に寄与する
- 2 病院看護師の役割の明確化と資質の向上を図ると共に働きやすい環境づくりを支援する

II 公益目的事業>

2 活動内容

- 1) 医療・福祉における看護師の資質向上のための研修会等の企画・実施
- 2) 看護職の交流を通して情報交換し、看護職の活性化を図る

2 活動の実績

項 目	内 容	開催日	場 所	参加者数
定 例 会	1) 事業の企画・実施・評価 2) 実態調査まとめ	全 11 回 + 臨時 3 回	神奈川県看護協会	委員 11 名
研 修 会	「管理者の魅力 主任時代に準備すること ～看護現場学から～」 講師：陣田 泰子 横浜市立大学看護キャリア開 発支援センター センター長	H30. 11. 14(水)	同上	319 名
研修会	シンポジウム 「チーム医療の推進が患者の回復過程にもたら したもの～成果と課題を多職種と共に考える～」 講師 菅野 浩 社会福祉法人恩賜財団済生会横浜市東部病院 湯田 健二 JMA 海老名総合病院 リハビリテーション科 藤井 穂波 東海大学医学部付属病院 診療協力部	H31. 2. 8 (金)	同上	59 名
そ の 他	実態調査 「神奈川県下の病院における各職種の役割分担 の推進に関する実態調査」	H30. 9～10 月	同上	配布：340 部 回収：207 部

III 会員に対する支援事業

1 活動内容

- 1) 平成 29 年度事業報告、平成 30 年度事業計画の説明

2 活動の実績

項 目	内 容	開催日	場 所	参加者数
職能集会 講 演 会	平成 29 年度看護師職能委員会活動報告 平成 30 年度看護師職能委員会活動計画 講演会 「看護の将来ビジョン ～いのち・暮らし・尊厳 をまもり支える看護の実現のために何をすべ きか～」 講師：福井 トシ子（公社）日本看護協会 会長	H30. 7. 21 (土)	神奈川県看護協会	151 名

看護師職能委員会Ⅰ 研修（講演会）実施報告

研修(講演会)テーマ	看護の将来ビジョン ～いのち・暮らし・尊厳おまもり支える看護の実現のために何をすべきか～		
主 催	看護師職能委員会 I		
講 師	福井 トシ子氏 ((公社) 日本看護協会 会長)		
開 催 日 時	平成 30 年 7 月 21 日 (土) 14:00～16:00		
目 的	病院領域の看護師は、医療の視点から生活の視点を持ち、チーム医療のキーパーソンとして役割発揮が期待されている。各施設の機能を十分発揮しながら生活の場へつないでいくために、受講者がそれぞれの立場で、「自分は何をすべきか」について考える機会とする。		
内 容	1) 講演 2025 年に向けた社会保障制度改革 医療と介護をつなぐ・介護予防と健康づくり 少子高齢化社会に対応する医療提供体制改革 日本看護協会 看護の将来ビジョン・地域共生社会 「生活」と保健・医療・福祉をつなぐ質の高い看護職による看護の普及		
場 所	神奈川県総合医療会館 7 階講堂		
参 加 対 象	医療従事者	参 加 人 数	151 名 (会員 145 名・非会員 6 名)
ま と め ・ 評 価	1. アンケート回収 126 枚 回収率 91% 1) 会員 120 名 2) 非会員 6 名 2. 職種 1) 看護師 116 名 2) 准看護師 1 名 3) 看護補助者 7 名 4) その他 0 名 無回答 2 名 3. 研修会を知ったきっかけ (複数回答) 1) 看護協会からの案内チラシ 67 名 2) 看護協会ホームページ 2 名 3) 友人、知人からの情報 4 名 4) 上司からの情報 61 名 5) その他 0 名 4. 参加動機 (複数回答) 1) 自らすすんで 75 名 2) 上司の勧め 48 名 3) 同僚の勧め 6 名 4) ホームページを見て 0 名 5) その他 0 名 5. 感想 1) 非常に良かった 75 名 2) 良かった 45 名 3) 普通 4 名 4) やや期待はずれ 0 名 5) 期待外れ 1 名 無回答 6 名 6. アンケート内容 ・病院の中で仕事をしてきたので地域に出ていくのは中々勇気のいるものです。ただ、今後は地域に根差した病院・必要とされる病院になるためにはどんどん地域にでていかないといけないと思いました。若いスタッフも一緒に活動し引き継いでいかないといけないことも再認識できました。 ・病院外にも目を向けたりコミュニティへの参加を積極的に取り組んだり、自分にできることを探してみたいと感じました。 ・暮らしのフィールドで、地域全体を見わたす能力とマネジメント能力であると改めて理解しました。日本の地域の方向性をしっかり見据えていかなければならないと思いました。 7. 評価 アンケートの結果から出席者の満足度は高かった。しかし、参加者が予定より少なかったことから、日程の調整や広報の工夫必要だったと思われる。今後は、ポスター作成など、広報活動を強化する。		

看護師職能委員会Ⅰ 研修（講演会）実施報告

研修（講演会）テーマ	「管理者の魅力 主任時代に準備すること ～看護現場学から～」		
主 催	看護師職能委員会Ⅰ		
講 師	陣田 泰子 氏（横浜市立大学看護キャリア開発支援センター センター長）		
開 催 日 時	平成 30 年 11 月 14 日（水）13：30～16：30		
目 的	2016 年看護師職能Ⅰによる「神奈川県下における病棟主任看護師の役割と支援に関する実態調査」の結果から、現主任たちが役割遂行にストレスを感じ、支援体制が不十分であり、次世代の看護管理者に魅力を感じないという意見が多くあった。そこで、次世代の看護管理者育成が課題と考え、神奈川県内における主任たちの情報交換や交流の場とする。		
内 容	講義 ・看護師を成長させるための管理者の役割 ・看護観から、看護実践論		
場 所	神奈川県総合医療会館 7 階講堂		
参 加 対 象	看護師 主任またはそれに準ずる者	参 加 人 数	319 名 (会員 281 名・非会員 38 名)
まとめ・評価	1. アンケート回収 299 枚 回収率 97.1% 1) 会員 268 名 2) 非会員 31 名 2. 職種 1) 看護師 292 名 2) 准看護師 1 名 3) 看護補助者 0 名 4) その他 6 名（保健師 1 名、助産師 5 名無回答 0 名 3. 研修会を知ったきっかけ（複数回答） 1) 看護協会からの案内チラシ 73 名 2) 看護協会ホームページ 5 名 3) 友人、知人からの情報 1 名 4) 上司からの情報 227 名 5) その他 1 名 4. 参加動機（複数回答） 1) 自らすすんで 121 名 2) 上司の勧め 173 名 3) 同僚の勧め 15 名 4) ホームページを見て 0 名 5) その他 3 名 5. 感想 1) 非常に良かった 169 名 2) 良かった 100 名 3) 普通 10 名 4) やや期待はずれ 5 名 5) 期待外れ 1 名 無回答 14 名 6. アンケート内容 ・もう主任として働けないと壁にぶつかっていました。今日の先生のお話を聞いて涙が出そうになった。これからももう少し頑張ってみようかな、と思えるようになりました。先生ありがとうございました。 ・先生の熱意が伝わってきてとても楽しい有意義な時間となりました。「組織から選ばれた人材」と何度も言っているのを聞いて、少し自信が持てました。ありがとうございました。 ・主任になったばかりで、役割が分からなかったが、知が広がる病棟にしたい。看護師を目指した当時の記憶が蘇った。そして元気をもらいました。 7. 評価 アンケートの結果から「非常に良かった」「良かった」が 90%と満足度の高い研修だった。しかし、「研修時間が短かった」「概念化シートを、時間をかけて作業をしたかった」という意見があった。今回は、参加人数が多く講堂を会場としたが、グループワークを含む研修だったため、意見交換しやすい会場設定が必要だった。今後、研修内容によっては適切な時間や会場を検討していく。		

看護師職能委員会 I 研修（講演会）実施報告

研修（講演会）テーマ	シンポジウム チーム医療の推進が患者の回復過程にもたらしたもの ～成果と課題を多職種と共に考える～		
主 催	看護師職能委員会 I		
講 師	菅野 浩氏（薬剤師）社会福祉法人恩賜財団済生会横浜市東部病院 薬剤部 部長 湯田 健二氏（理学療法士）JMA 海老名総合病院 リハビリテーション科 科長 藤井 穂波氏（管理栄養士）東海大学医学部附属病院 診療技術部 次長		
開 催 日 時	平成 31 年 2 月 8 日（金）14：00～16：00		
目 的	診療報酬の改訂によってチーム医療の推進に取り組む施設が増えた。今回、多職種連携を積極的に推進している施設の方々と、成果と課題について意見交換をする。		
内 容	シンポジウム		
場 所	神奈川県総合医療会館 6 階研修室		
参 加 対 象	看護師 管理栄養士	参 加 人 数	59 名 （会員 55 名・非会員 4 名）
まとめ・評価	1. アンケート回収 45 枚 回収率 76% 1) 会員 41 名 2) 非会員 4 名 2. 職種 1) 看護師 43 名 2) 准看護師 0 名 3) 看護補助者 0 名 4) その他 2 名（保健師 0 名、助産師 1 名 栄養士 1 名） 3. 研修会を知ったきっかけ（複数回答） 1) 看護協会からの案内チラシ 20 名 2) 看護協会ホームページ 3 名 3) 友人、知人からの情報 0 名 4) 上司からの情報 22 名 5) その他 0 名 4. 参加動機（複数回答） 1) 自らすすんで 25 名 2) 上司の勧め 20 名 3) 同僚の勧め 2 名 4) ホームページを見て 2 名 5) その他 0 名 5. 感想 1) 非常に良かった 21 名 2) 良かった 17 名 3) 普通 4 名 4) やや期待はずれ 0 名 5) 期待外れ 0 名 無回答 3 名 6. アンケート内容 ・他の職種の方のそれぞれの立場からの視点でお話がきけて良かったです。チーム連携という名のもと、ただの分業、分担にならないよう、それぞれの職種が互いに尊敬、尊重していける職場を目指したいと思います。 ・看護職以外の多職種との協働、チーム医療の必要性、役割に向けた今後の課題について考えるよい機会となった。これからも患者さんによりよい医療サービスとは何かを考えていきたいと思った。 ・各々の職種の取り組み現状を知り参考になりました。お互いの業務を知り、分業ではなく協働で患者の安全、安楽を考えたとりくみをしていくことが大切。その為の職員の教育や組織づくりも重要と思いました。 7. 評価 アンケートの結果から「非常に良かった」「良かった」が 90%と満足度の高い研修だった。満足度の高い研修であったが、今回は参加人数が 59 名と予定を下回り、人数に適した会場に変更した。参加者を増やすための、募集方法が課題となる研修であった。今後、テーマの表現方法を工夫することで、参加人数を増やすことを課題とする。		

